

地長機第 59 号
令和 8 年 6 月 1 日

地方独立行政法人長崎市立病院機構
(長崎みなとメディカルセンター)
理事長 門田 淳一

個人情報を含むUSBメモリの紛失について（ご報告）

このたび、当院所属職員が、個人情報を含むデータを記録したUSBメモリを紛失する事案が発生いたしました。該当する患者及び関係者の皆様には、多大なご心配とご不安をお掛けいたしましたことを、心より深くお詫び申し上げます。

当院では、日頃より全職員に対し個人情報の厳格な取扱いを指導し、情報管理の徹底に努めてまいりましたが、このたびの本事案を改めて重く受け止め、より一層の意識向上と個人情報を含む情報管理の徹底等を図り、再発防止に努めてまいります。

なお、現時点では、本事案に起因する個人情報の漏えい及び被害は確認されておりません。

また、紛失した当該USBメモリはパスワードによるアクセス制限が設定されており、第三者が容易にデータを参照することはできない状態にあるため、個人情報が外部に漏えいする可能性は低いと考えられます。しかしながら、引き続き状況を注視し、万が一被害が確認された場合には、速やかにご報告いたします。

1. 発生状況

令和 8 年 5 月 28 日（木）午後、当院所属職員が、外注検査委託事業者に検査を依頼するため、個人情報を含むデータをUSBメモリに保存し、当該USBメモリを部署内の机に置き、他の業務を行っていました。その後、当該事業者が検体を受け取りに来た際に、該当のUSBメモリがないことが判明したことにより、当該USBメモリの紛失が発覚しました。その直後から関係職員全員で関係各所を捜索するも見つからず、その後、現在まで発見には至っておりません。廃棄物に混入した可能性も否定できず、廃棄物保管場所等も捜索しましたが発見には至りませんでした。

2. 紛失したUSBメモリに記録されていた個人情報

個人情報の件数：11件（患者ID、氏名、検査項目等）

3. 対応状況

関係する患者の皆様には、既に本事案に関するご報告とお詫びを行い、個人情報漏えいによる被害が疑われる場合には、直ちに当院までご連絡をいただくようご案内しております。

4. 再発防止に向けた取組み

今後このような事態を二度と招くことがないように、全職員に対し、改めて個人情報や機密情報の適切な取扱いについて周知徹底を図るとともに、個人情報を含む情報管理の徹底及び個人情報保護に関する教育や研修を継続的に実施してまいります。